

倒産予知モデルを構成する財務比率・最終判定モデルS A F 値

倒産予知<危険予知判断>

小売業・卸売業・製造業等建設業以外の業種のかたは、この算出手順を参考に願います。

倒産予知の実務 (著者白田佳子先生・日大経済学部教授) より

倒産予知モデルを構成する財務比率・最終判定モデルS A F 値を引用させていただきました。

引用ページ番号 (111P)

・ 総資本留保利益率
・ 総資本税引前当期利益率
・ 棚卸資産資産回転期間
・ 売上高金利負担率
◎ 上記の4つの財務分析比率が出ましたら、(倒産予知判定) S A F 値判定数字裁算出数式に代入し、その数値が出たら判定表にて、裁決致します。

引用ページ番号 (120P)

なぜ、わたしが、この財務比率・最終判定モデルS A F 値を利用させていただいたかと申しますと、関係会社で発生した倒産事故会社の直前の財務諸表分析にあてはめてみると、実によくピタリとあてはまり、倒産企業群に該当していることが、実証されました。

引用ページ番号 (115、117P)

指標その1: 総資本留保利益率

計算式 (期首・期末平均留保利益/期首・期末平均負債・資本合計) ×100

○ 留保利益=資本の部 - (I 資本金 + II 資本剰余金)

指標その1: 総資本留保利益率

計算式

期首・期末平均留保利益	÷	期首・期末平均負債・資本合計	×	100	=
648,005	÷	1,806,421	×	100	=
(当期留保利益のみ)		(総資本前期+総資本当期) ÷ 2			
	÷		×	100	=

■留保利益の計算

留保利益	=	資本の部	-	(I 資本金	+
648,005		698,005		50,000	
留保利益	=		-		+

参考 建設業の場合

○経営事項審査の中では、資本の部を自己資本と読みかえましょう。

○経営事項審査の中では、資本金は、右上の欄外に記載されております。

○経営事項審査の中では、資本剰余金は、記載されておりませんので除外して計算します。(0と仮定して計算)

○経営事項審査の中では、期首・期末平均留保利益は計算出来ませんので、期末(当期末)のみで簡易計算します。

ただし、負債・資本合計=総資本(経営事項審査記載)の前期・当期は記載されておりますので、平均の計算が可能です。

■総資本留保利益率の平均値

倒産企業群	2.52%
継続企業群	16.33%
倒産傾向	減少

指標その2: 総資本税引前当期利益率

計算式

税引前当期利益	÷	期首・期末平均負債・資本合計	×	100	=
-219,069	÷	1,806,421	×	100	=
(当期純利益)		(総資本前期+総資本当期) ÷ 2			
	÷		×	100	=

参考 建設業の場合

■ 総資本留保利益率の平均値

倒産企業群	2.52%
継続企業群	16.33%
倒産傾向	減少

引用ページ番号 (120P)

指標その2：総資本税引前当期利益率

計算式 (税引前当期利益/期首・期末平均負債・資本合計) × 100

簡易与信管理版

○ 経営審査事項の中では、当期純利益と読み替えましょう。

また損益計算書の中では、税引前当期利益が該当します。

■ 総資本税引前当期利益率の平均値

倒産企業群	0.14%
継続企業群	2.29%
倒産傾向	減少

引用ページ番号 (123P)

指標その3：棚卸資産回転期間

計算式 (期首・期末平均棚卸資産) × 12/売上高

簡易与信管理版

○ 経営審査事項の中では、当期純利益と読み替えましょう。

また損益計算書の中では、税引前当期利益が該当します。

■ 総資本税引前当期利益率の平均値

倒産企業群	0.14%
継続企業群	2.29%
倒産傾向	減少

指標その3：棚卸資産回転期間

計算式

期首・期末平均棚卸資産	×	12	÷	売上高	=
542,943	×	12	÷	2,872,073	=
(当期の未成工事支出金のみ)					
	×	12	÷		=

参考 建設業の場合

簡易与信管理版

○ 経営審査事項の中では、未成工事支出金と読み替えましょう。

また貸借対照表の中では、未成工事支出金・仕掛品・仕掛工事・商品・材料貯蔵品等が該当します。

○ 経営審査事項の中では、当期の未成工事支出金のみ記載しかありませんので、前期分は0として計算します。

■ 棚卸資産回転期間の平均値

倒産企業群	1.6700 ヵ月
継続企業群	0.96720 ヵ月
倒産傾向	長期化

引用ページ番号 (143P)

◆ 手動計算の場合、左記数式により4つの比率を出しましたら最後のSAF値算出数式に代入し、計算して、SAF値を求め判定表にて裁決をいたします。

ただし、エクセルシートをご利用の方の場合、財務分析比率算出シートに入力完了次第、自動的にSAF値財務分析自動判定シートに転記され、最終判定結果が表示されます。

SAF値  
算出数  
式：  
引用ペー  
ジ番号

$$「SAF値 = 0.01036X1 + 0.02682X2 - 0.06610X3 - 0.02368X4 + 0.70773」$$

SAF値判定表

① SAF値 < 判定点 0.70	倒産可能性大
② 0.9 > SAF値 > 判定点0.7	要注意ゾー ン
③ 1.44 > SAF値 > 0.9	安全
④ SAF値 > 1.44	優良会社

倒産予知モデルを構成する財務比率(SAF2002モデル)

検証会社名 A工務店

算定数式

SAF値 =

倒産予知	項目	比率
総資本留保 X1 =		35.872313 %
総資本税引 X2 =		-12.12724 %
棚卸資産回 X3 =		2.2685064 ヶ月
売上高金利 X4 =		%

SAF値判定表

SAF値判定数式

$$「SAF値 = 0.01036X1 + 0.02682X2 - 0.06610X3 - 0.02368X4 + 0.70773」$$

① SAF値 < 判定点 0.70 倒産可能性大

② 0.9 > SAF値 > 判定点0.7 要注意ゾーン:CF計算書で再検討も必要

③ 1.44 > SAF値 > 0.9 安全

④ SAF値 > 1.44 優良会社

倒産予知・与信管理診断

初級編

決算書・経営事項審査データ検討

◆決算書の内容検討							評点	取引の可否
1. 自己資本比率				20%以上理想（最下限10%以上）				1個以下危険中止
	自己資本	÷	総資本	×	100			
エクセル 入力欄		÷		×	100	=	○ 2個の場合○注意しながら取引、更に中級編で再検討	
手書電卓 用		÷		×	100			
2. 有利子負債構成比率				30%以下理想				3個以上優良取引安全
評点合計							1	

倒産予知・与信管理診断

初級編

決算書・経営事項審査データ検討

◆決算書の内容検討							評点	取引の可否
1. 自己資本比率				20%以上理想（最下限10%以上）				1個以下危険中止
	自己資本	÷	総資本	×	100			
エクセル 入力欄		÷		×	100	=	○ 2個の場合○注意しながら取引、更に中級編で再検討	
手書電卓 用		÷		×	100			
2. 有利子負債構成比率				30%以下理想				3個以上優良取引安全
評点合計							1	

与信管理経営事項審査データよりの判定

以上4項目の結果がわかりましたら、おおまかではありますが、評価します。

●危険・・3から4項目全て標準比率を下回る場合、相当危険な状況にある会社と判断、新規取引は当然中止、以前から継続取引中の得意先も取引範囲の縮小及び早期撤退も視野に入れて債権管理に努めましょう！

○半数該当の場合、注意しながらも取引可能状態の会社と判断。しかし、中級編にて詳細に検討することが、必要となります。

◎3項目以上標準比率を上回る場合、安心して新規取引開始を裁決して、継続取引中の得意先は、いままで以上に大事にしながら、取引拡大に努めましょう！